

平成28年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	医療経済実態等調査費			担当部局庁	保険局		作成責任者			
事業開始年度	昭和42年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医療課保険医療企画調査室		矢田貝 泰之			
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	・中央社会保険医療協議会建議書(昭和42年9月10日) ・健康保険法等の一部を改正する法律附則第2条第2項の規定に基づく基本方針(平成15年3月28日閣議決定)					
主要政策・施策	高齢社会対策			主要経費	社会保障					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療機関等における医業経営等の実態を明らかにし、社会保険診療報酬に関する基礎資料を整備する。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	医療機関等に関する以下の調査を実施する。 ・病院、一般診療所、歯科診療所、保険薬局に対する施設全体の収支状況を把握するための調査(医療機関等調査) ・医療保険の保険者の財政状況の実態を把握するための調査(保険者調査) ・病院に対する各診療科ごとの収支状況を把握するための調査(事例調査) ・訪問看護ステーションの訪問看護療養費の実態を把握するための調査(訪問看護療養費実態調査) ・柔道整復、はり・きゅう、あん摩マッサージ、治療用器具等の療養費の実態を把握するための調査(療養費実態調査)									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
	予算の状況	当初予算	186	171	157	146	137			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		186	171	157	146	137			
執行額		123	11	118	-		-			
執行率(%)		66%	6%	75%	-		-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標		成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 28 年度
	医療経済実態等調査は、医業経営等の実態を把握することを目的として実施するものであるため、調査の精度向上という観点で、有効回答率55%を目標とする。		医療機関等調査の全体の有効回答率(特定機能病院、歯科大学病院、子ども病院を除く)	成果実績	%	53.1	-	52.4	-	-
				目標値	%	55	-	55	-	55
				達成度	%	96.5	-	95.3	-	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	①医療機関等調査 調査の対象とした施設数を活動指標とする。 (2年に1度の調査)			活動実績	施設	8,983	-	8,712	-	
				当初見込み	施設	9,156	-	8,947	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	②保険者調査 調査の対象とした組合数を活動指標とする。 (2年に1度の調査)			活動実績	組合	1,516	-	1,494	-	
				当初見込み	組合	1,516	-	1,494	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	③事例調査 調査に応諾した施設数を活動指標とする。			活動実績	施設	455	-	-	-	
				当初見込み	施設	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	④訪問看護療養費実態調査 抽出した訪問看護療養費明細書の件数を活動指標とする。 (2年に1度の調査)			活動実績	件	41,361	-	56,942	-	
				当初見込み	件	-	-	-	57,000	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標				単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込	
	⑤療養費実態調査 抽出した療養費支給申請書の件数を活動指標とする。			活動実績	件	141,721	146,811	150,775	-	
				当初見込み	件	-	-	-	142,220	

単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込
	単位当たりコスト = X / Y			円	12,245	-	11,823
	X:「医療機関等調査の費用」 Y:「調査対象数」		計算式	X / Y	110百万/8,983	-	103百万/8,712

平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由			
	医療給付適正化業務庁費	16	18	・訪問看護療養費実態調査の調査客体の増に伴う経費の増			
	社会保険基礎調査委託費	130	119	・医療機関等調査の執行状況を踏まえた見直しによる減			
	計	146	137				

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	施策大目標9 全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること							
	施策	施策目標 I-9-1 適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度
		実績値	-	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
本事業により明らかとなった医療機関等における医業経営等の実態を踏まえて、適正な診療報酬改定を実施し、適正かつ安定的・効率的な医療保険制度の構築を図る。									

改革項目	分野:	-	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-	-	-
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-
		目標値	-	-	-	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	-	-	-
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係								
-									

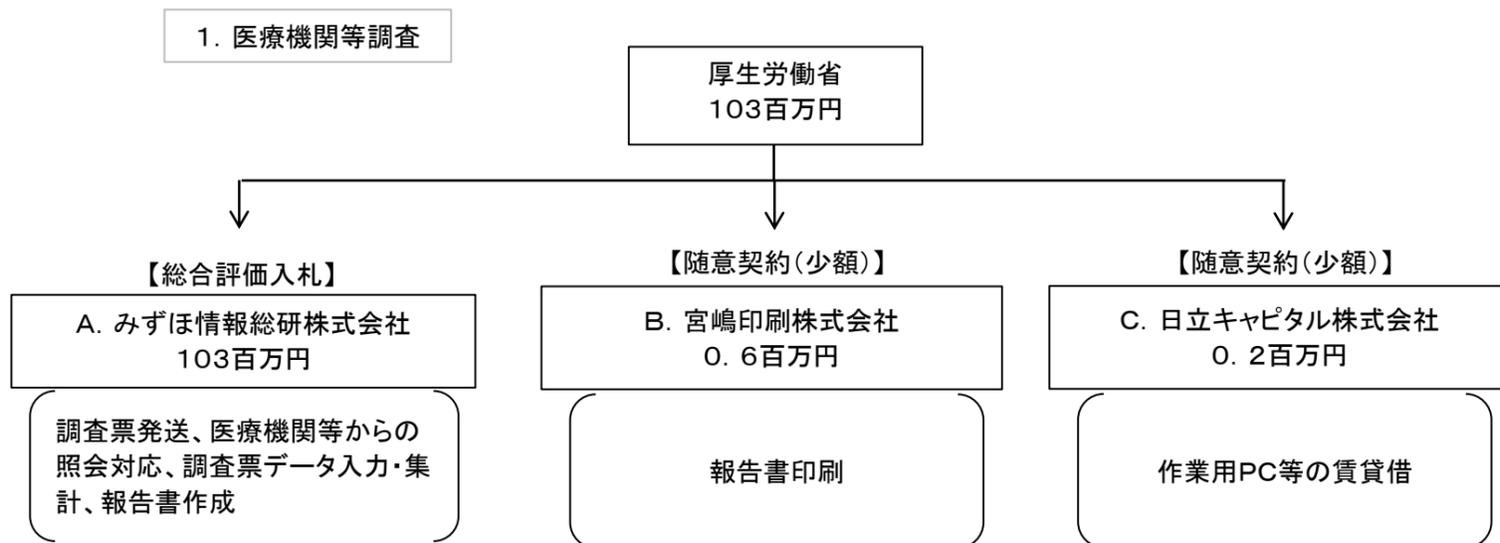
事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	適正な診療報酬改定に資するという観点から、広く国民のニーズがある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	診療報酬改定の基礎資料となるため、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	診療報酬改定の基礎資料として位置づけられており、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	原則として、総合評価入札及び一般競争入札を利用するなど、競争性を確保しながら支出先を選定しているが、医療機関等調査の総合評価入札1件が一者応札であった。次回入札に向けて、公告期間の延長、企画提案書の簡素化等の改善策を検討する。 また、競争性のない随意契約が3件あったが、業務内容はいずれも社会保険診療報酬支払基金等が保管している訪問看護療養費明細書等を複写等するものであり、契約の相手方が社会保険診療報酬支払基金等に限定されるため、問題ない。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	総合評価入札を行うことにより、コストの削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-

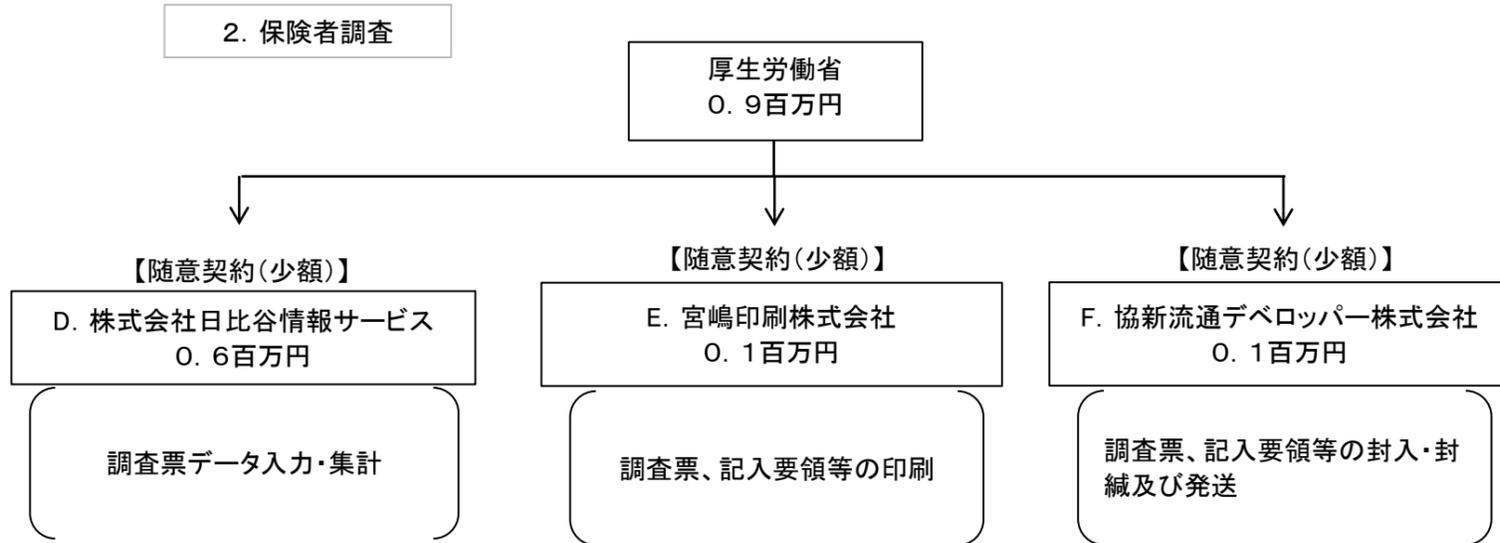
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	人件費等、調査の実施にあたり必要最低限のものに限定されている。			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	主に、入札の結果、残額が生じたものである。			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	原則として総合評価入札及び一般競争入札を利用するほか、少額随意契約においても、事業の委託先選定に当たり、複数者から見積をとることにより効率化を図っている。			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標をほぼ達成している。			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	個別の医療機関等の経営実態調査であり、現行の調査票調査以外の代替手段はない。			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	ほぼ見込みどおりの活動実績である。			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	診療報酬改定の基礎資料として活用されている。			
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	平成26年度においては、平成27年10月の消費税率8%から10%への引上げに向けて調査のための予算を確保したが、消費税率の引上げが見送られ、調査を実施しなかったため、執行率が低かったものである。平成27年度においては、調査項目の増加に対応するため必要な予算を確保したが、入札の結果、執行率が75%にとどまったものである。医療機関等調査の有効回答率については、平成25年度は53.1%、平成27年度は52.4%とほぼ目標(55%)を達成している。				
	改善の方向性	引き続き、執行状況を踏まえた予算額の見直しを行うとともに、競争性のある契約を実施することにより適正な予算の執行に努める。また、有効回答率の更なる増加に向けた措置を講じることとする。				
外部有識者の所見						
<p>執行状況を踏まえて予算要求を見直す必要がある。また、公告期間の延長、公表資料などを活用した業者への早い段階からの積極的な声かけ、仕様書の内容の一層の明確化、企画提案書の簡素化などにより調達における競争性を確保するとともに、有効回答率の向上を図るため、診療関係団体への協力要請、調査票の簡素化などの工夫、不備のある回答に対する照会を行うほか、回答を一層促すよう地域別の回答率の公表、公立病院の回答の義務づけ等を含めて検討すること、回答した医療機関と回答しなかった医療機関の属性を分析すること、類似調査との間で横断的な比較検討を行うこと、が必要。</p>						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の一部改善	公開プロセスの評価結果を踏まえ、執行状況を踏まえた予算要求を行うとともに、調達における競争性の確保に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>公開プロセスの評価結果を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・執行状況を踏まえて予算要求額を縮減した。 ・次回入札において、公告期間の延長等により一者入札の改善に努める。 ・次回調査において、診療関係団体への協力要請等により有効回答率の向上に努める。 					
備考						
(調査結果の掲載場所) http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/database/zenpan/jittaityousa/20_houkoku.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	272	平成23年度	243	平成24年度	209	
平成25年度	242	平成26年度	254	平成27年度	264	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

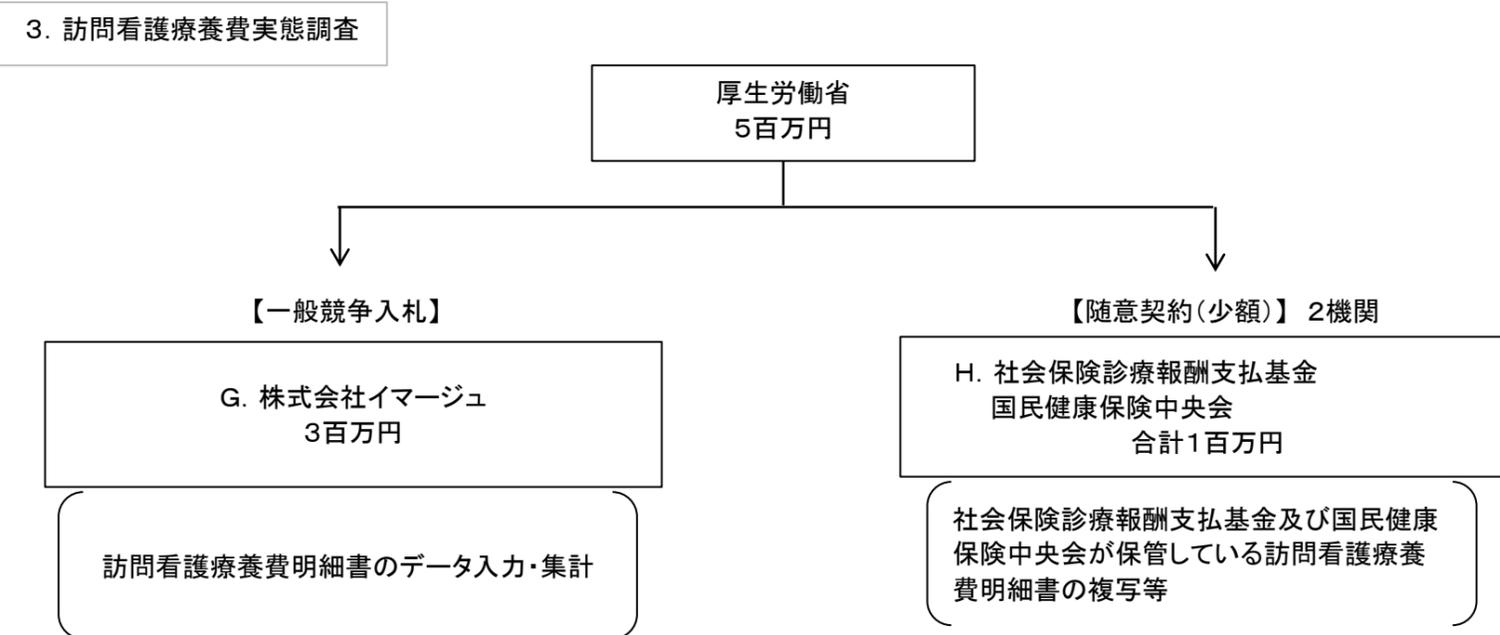
1. 医療機関等調査



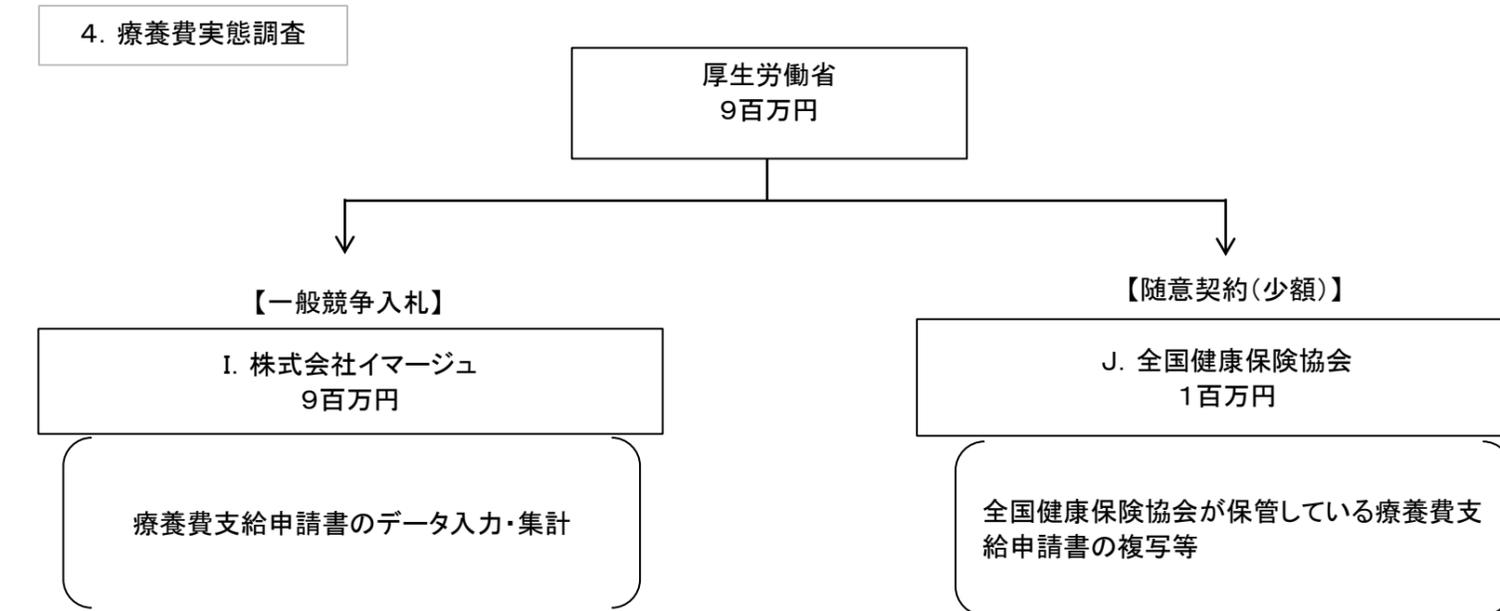
2. 保険者調査



3. 訪問看護療養費実態調査



4. 療養費実態調査



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.みずほ情報総研株式会社			B.宮嶋印刷株式会社		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
委託費	調査票発送、医療機関等からの照会対応、 調査票データ入力 委託先:株式会社ケイアンドエフ・オフィス、 システムズ・デザイン株式会社、株式会社情 報実業、株式会社エヌ・ティ・ティ マーケティ ングアクト	43	印刷費	報告書印刷	0.6
人件費	調査表データ集計、報告書作成	42			
その他	郵送料、電話料金等	18			
計		103	計		0.6
C.日立キャピタル株式会社			D.株式会社日比谷情報サービス		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
賃貸借費	作業用PC等の賃貸借	0.2	役務費	調査票データ入力・集計	0.6
計		0.2	計		0.6
E.宮嶋印刷株式会社			F.協新流通デベロッパー株式会社		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
印刷費	調査票、記入要領等の印刷	0.1	通信費	調査票、記入要領等の封入・封緘及び発送	0.1
計		0.1	計		0.1
G.株式会社イメージ			H.社会保険診療報酬支払基金、国民健康保険中央会		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
役務費	訪問看護療養費明細書のデータ入力・集計	3	印刷・通信費	社会保険診療報酬支払基金及び国民健康 保険中央会が保管している訪問看護療養費 明細書の複写等	1
計		3	計		1

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	I.株式会社イメージ			J.全国健康保険協会		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	役務費	療養費支給申請書のデータ入力・集計	9	印刷・通信費	全国健康保険協会が保管している療養費 支給申請書の複写等	1
	計		9	計		1

別紙3

I

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社イメージ	3011101002154	療養費支給申請書のデータ入力・集計	9	一般競争入札	2	86.3%	-

J

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	全国健康保険協会	7010005013337	全国健康保険協会が保管している療養費支給申請書の複写等	1	随意契約 (少額)	-	100%	-